

オー・ジー

創業100周年に向けた、長期経営計画「VISION2023」に沿って成長市場への展開を進めるオー・ジー。「売上高は前年並みに推移したが、利益面でもプラス傾向を維持している。事業の見通しも、明るい兆しが見えている」（福井英治社長）と手応えをみせ、引き続き「注力市場のASEAN（東南アジア諸国連合）とインドでパー

トナーシップを広げたい」ことで、国内の既存市場や新規分野と合わせ

る樹脂加工2社に加え、2016年12月に機能性コンパウンドを製造する旭テクノ工業をグループ化した。「各社の知見を組み合わせ、少量でもニッチな分野で特殊品へ

を感じる。ジェネリック医薬事業で強みとしている薬事分析機能を活かす、海外で受託製造すること、取扱品目と納入量を増加させている。また輸入では重曹について順

収益力向上へ差別化加速

グループ全体の収益力を伸ばす。

のシフトを加速する」のが狙い。また競争力のあ

調に拡大させ、提携先が今年5月にシンガポールの新工場を稼働させたこと

国内では、汎用品は縮小傾向だが高付加価値化・差別化戦略を推進し、収益性を向上。樹脂事業ではメーカー機能を擁す

る輸入商材の拡販と日本の技術力を生かした海外での受託製造ビジネスは、地方拠点を含めた全社で活発に行い、手応え

など、シェアアップを狙う。

海外では、タイで輸送機・家電向けに樹脂事業を展開しており、再生樹脂の難燃コンパウンドを供給する。インドネシアではコールドチェーン向けに、日本の技術を導入した断熱パネルを現地調達し、日系企業向けに供給を拡大させている。さらにインドでは台湾新幹線で実績を持つ素材を提案し、交通網の拡大が見込まれる同国での商機を創出する。